

著者紹介

David Crocker

UCLA 卒業、南カリフォルニア大学アンネンバーグ校で修士課程を修め、デラウェア大学でコンピュータサイエンスを学ぶ。ACM, IEEE 各会員。電子メールの標準化に関する功績で 2004 年 IEEE インターネット賞を共同受賞。Brandenburg InternetWorking 代表。

安藤 一憲

1996 年に就職以来、会社は変わっても一貫してメール系サービス開発に携わる。2004 年より現職。現在もメール系サービスの研究開発にあっている。

安東 孝二 (正会員)

東京大学原子力工学専攻卒業、同大学院システム量子工学専攻博士課程満期退学。東京大学情報基盤センター情報メディア教育研究部門助手。

伊藤 孝史

平成 5 年豊橋技術科学大学・情報卒業。平成 7 年同大学修士課程修了。同年 NTT 移動通信網(株)(現 NTT ドコモ)入社。無線局の保守業務を経て、平成 12 年より imode センタのサービスの開発に従事。

岩本 誠一

昭和 45 年九州大学理学研究科数学専攻(計画数学講座)修士修了(理博)。動的計画法の理論と応用の研究に従事。DP の三面鏡一逆・反転・双対一理論、ファジィ DP、非決定性 DP を創出。平成 12 年ベルマン賞受賞。

岡田美保子 (正会員)

ネブラスカ大学計算機科学科修士課程修了。医学博士(新潟大学)。昭和 55 年新潟大学教養部・統計学講師。昭和 59 年同助教授を経て、平成 3 年鈴鹿医療科学大学教授。平成 10 年より川崎医療福祉大学教授。

岡村 久道

京都大学法学部卒業。大阪弁護士会会員。国立情報学研究所客員教授。専門分野はサイバernetics、知的財産権法など。主な著書「情報セキュリティと法制度」、「個人情報保護法の知識」など多数。毎日新聞にコラムを連載中。

掛下 哲郎 (正会員)

1989 年九州大学大学院博士後期課程修了。工学博士。現在、佐賀大学知能情報システム学専攻助教授。学科の JABEE WG 座長として教育システムの構築を進め、同学科の教育プログラムは 2003 年度に JABEE による認定を受けた。専門はデータベースおよびソフトウェア工学。

景山 忠史

1998 年郵政省(現総務省)入省。放送行政局(現情報通信政策局)、情報通信政策局情報通信政策課等を経て、2004 年より現職。特定電子メールの送信の適正化等に関する法律の見直しを担当。

加藤 佳実

1988 年松下電器に入社し、パソコン通信(SILK-NET)立ち上げに従事。1997 年 ISP (hi-ho) 立ち上げに従事。以降、サーバシステム全般を統括するとともに、電子メールの健全な普及に尽力中。

木村 泰司 (正会員)

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC) 主担研究員。1999 年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。同博士後期課程に在学中。認証システムとアクセス制御技術の研究および認証局に関する調査研究に従事。

黒木 聖司

創価大学教授(工学部)。東京大学・工・電気卒業。スタンフォード大学大学院修士課程およびエンジニアリング課程修了。工学博士。米国 GE 社スペースセンタ勤務(放送衛星の開発)の後、(株)東芝宇宙開発事業部勤務(技術試験衛星などの開発)、東京大学非常勤講師などを経て現職。2001～02 年スタンフォード大学客員教授(手作り小型衛星の研究開発)。

小谷 善行 (正会員)

1949 年生。1977 年東京大学工学系大学院博士課程修了。現在東京農工大学教授。人工知能、知識処理、自然言語処理、知識獲得、ゲームシステム等の研究に従事。最近では、多量データからの知識獲得に興味を持っている。

近藤 学

1990 年旭化成情報システム(株)に入社。1998 年(株)インターネットイニシアティブに入社。入社以来、メールに関するサービスの企画開発に従事している。MAAWG メンバとしても活動中。

櫻井 三子 (正会員)

日本電気(株)勤務。1992 年慶應義塾大学理工学研究科数理学専攻修士課程修了。入社以来、インターネットセキュリティ分野の業務に従事。長くかかわってきた分野は認証。

鈴木 常彦 (正会員)

1985 年電気通信大学卒業。2000 年中部電力(株)退職。現在、中京大学情報科学部助教授。NPO 東海インターネット協議会理事。(株)リフレクション取締役等を兼任。地域ネットワークの在り方を研究。最近ではインターネット崩壊論者。

田丸喜一郎

1981 年慶應義塾大学工学研究科博士課程修了。工学博士。同年、(株)東芝入社。半導体技術研究所、本社技術企画室を経て、現在、ブロードバンドシステム LSI 開発センター参事。(独)情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター組込み系プロジェクトサブリーダー。

鶴岡 慶雅 (正会員)

2002 年東京大学工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。科学技術振興機構 CREST 研究員。自然言語処理の研究に従事。激指は 6 年前に研究室のメンバ 4 人とともに開発を開始。

長尾 剛司

2003 年創価大学工学部卒業。2005 年同大学院工学研究科情報システム学専攻修士課程修了。同年 NEC エレクトロニクス入社。在学中は超小型衛星のシステム最適化研究に従事。

中村 素典 (正会員)

京都大学学術情報メディアセンター助教授。博士(工学)。ネットワーク、遠隔講義などの

研究に従事。sendmail をはじめとする電子メール関連ソフトウェアの開発や書籍の監訳も手がける。

廣瀬 正

慶應義塾大学大学院計測工学修士課程修了。日立製作所システム開発研究所入所。OS, DB, ソフトウェア開発技術, AI 研究に従事。のち、情報通信事業の事業企画を担当。現職、President, Hitachi America CVC。現在の研究分野は Management of technology。IEEE 会員。E-mail: tadashi.hirosesd@hitachi.com
<http://www.hitachi.co.jp/cvc/>

ひろのかずお

1963 年大阪外国語大学仏語科卒業。大阪市立大学・慶應義塾大学に学ぶ。日本ユニバック(現日本ユニシス)・CSK・情報技術開発(TDD)を経たが、この間、人工知能・認知科学・インターネット分野で広範囲に活動。現在、(株)プロファイル、イー・カルチャー(株)の顧問、NPO デジタル情報産業振興会(ADI2)理事、NPO・CEO 企画担当。

牧野 友紀

日本ユニシス(株)ビジネスイノベーション本部。異種プラットフォーム間非同期メッセージング・ミドルウェアの設計・開発、企業間の Web サービス連携システムの構築を多数手がける。現在、SOA をベースにした分散システム統合アーキテクチャの策定、適用に向けた方法論の開発に従事する。XML コンソーシアム・エバンジェリスト。

松原 仁 (正会員)

1959 年東京生。1969 年前後将棋を覚える。1986 年東京大学大学院情報工学専攻修了。同年電子技術総合研究所。同年将棋アマ 5 段。2000 年公立はこだて未来大学。

山井 成良 (正会員)

岡山大学総合情報基盤センター助教授。博士(工学)。分散システム、マルチメディアシステム、マルチメディアネットワークの研究に従事。第 3 回 FIT 論文賞受賞。

湯浅 太一 (正会員)

1977 年京都大学理学部卒業。1982 年同大学院理学研究科博士課程修了。同年京都大学数理解析研究所助手。1987 年豊橋技術科学大学講師。1988 年同大助教授。1995 年同大教授。1996 年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻教授。1998 年同大学院情報学研究科通信情報システム専攻教授となり現在に至る。理学博士。記号処理、プログラミング言語処理系、並列処理に興味を持っている。著書「Common Lisp 入門(共著)」、「C 言語によるプログラミング入門」、「コンパイラ」ほか。日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM 各会員。本会フェロー。

和田 英一 (名誉会員)

1955 年東京大学理学部物理学科卒業。東京大学工学部、富士通研究所を経て IJ 技術研究所長。プログラム言語、操作システムなどソフトウェアシステムやインタフェースに関心があり、Happy Hacking Keyboard、和田研フォントの開発に関与。IFIP WG2.1、WIDE プロジェクトメンバ、プログラミング・シンポジウム委員長、本会誌編集長。

今年のゴールデンウィークはおおむね天気にも恵まれ、帰省先の街は毎年恒例のお祭りを見物に来た人たちで混雑していました。ぽかぽか陽気の下でパレードやステージのパフォーマンスを見たり、屋台に立ち寄ったりしている人を車窓から眺めていると、ふと手から風船を離してしまい、泣きべそをかいている女の子が目にとまりました。空高く舞い上がっていく風船を目で追っていたら、幼い日の記憶が蘇ってきました。小学1年生の時、このお祭りに来ていた私は、ひまわりの種を風船につけて飛ばそう、というイベント告知看板を目にし、参加してみることにしました。ひまわりの種と手紙と連絡先を風船につけ、どうかひまわりを大事に育ててくれる人の手に渡って下さい、と願いながら風船を飛ばしました。数週間後のある日、一通のハガキが届きました。県内のある家族がその風船を拾い、ひまわりの種を蒔きました、というお知らせをしてくださったのでした。夏になると、ひまわりが咲きました、と絵付きのハガキを送ってくださり、今でも大切な思い出となっています。

時は現在に戻り、さらに高く上がっていく風船を見続けながら、思いました。夢のある遊びですが、誰が手にするか分からない風船に、詳細な連絡先を付けて空中に放すというのは、無防備な気がして今なら気が引けてしまいます。こういうところでも、遊びに制約をかけなくてはいけなくなってしまったのだな、と少し寂しく思いました。

(長澤有由子/規格部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報と社会

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)



好評既刊書

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克亘・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

IT Text ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「21世紀卓越した情報研究拠点プログラムの目指す研究(前編)」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■日本における情報関連の先端的研究はどのようなもので、どこで、どんながやりかを一瞥するのに、役に立ちました。図や表なども適宜挿入して、読者に分からせようとする努力の跡が見られますが、1つ1つの article を十分に理解するには、時間がかなりすぎて困難です。しかし、それぞれの専門分野の研究者にとっては、良い啓発・刺激になったでしょう。内容は高度なものですので、平均的な読者には少々難しいのではないかと思います。解説的に記述されていれば、全体の読者にとってより有益であったでしょう。(竹下 亨)

■現在情報分野の最先端ではどのような研究がなされているか幅広く知ることができて良かったと思います。このような特集によってさまざまな研究がお互いに刺激あったり、意見を交換しあうことができたりして、相乗効果でより良い研究をすることができたら良いなと思います。21世紀 COE について述べられた文章が多くて、21世紀 COE の実態というのをいろいろと知ることができて良かったのですが、その一方で、もう少し技術的な面についても突っ込んだ内容を知ることができたらさらに良かったように思います。(片山聡一郎)

■情報に関する COE が特集されていますが、COE 自体、産業界で知られているかどうか、疑問に思っています。従来からある科研費や特定領域研究との違いをはっきり説明した上で、COE の特集を組んで欲しかったと思います。(水野光朗)

■21世紀 COE の紹介特集は、大学改革への取り組みの1つとしての新規事業の紹介という意義のある取り組みだと思います。しかしながら、内容を拝見すると少し平板な印象を受けました。取り組みの紹介というところにポイントがあるためでしょうか。もう少し踏み込んだ、もしくは主張を盛り込んだ紹介になるとありがたいなと感じました。(濱 久人)

巻頭「IPSJ Digital Courier への道のりと期待」については以下のご意見をいただきました。

■この4月からの英文誌誕生までの経緯と、その重要性やご苦労が分かりやすく説明されており、著者の情熱・誠意に溢れるお人柄が読み取れて、感銘を受けました。本会にとってこの英文誌発行は歴史的な出来事であり、巻頭に掲載されたとはいえ、活字が小さくて、普通の読者なら読みそこなうところでした。もっと大きな見出し、大きな活字で本体に、しかも「いよいよ英文誌発信開始!」とでも、もっとアピールする形で、表紙に載せていただけると良かったかと思えます。(竹下 亨)

「創立45周年記念特別寄稿:情報という言葉を探る(1)」に対しては、以下のようなご意見をいただきました。

■歴史的な背景をふまえた内容で、語源について興味を持って読ませていただきました。(匿名希望)

■興味を持ちました。続編が楽しみです。会誌の読み方が自分の研究に関連する記事に偏っていることを実感した。(匿名希望)

解説「ソフトウェアプロテクションの技術動向(前編)ーソフトウェア単体での耐タンパー化技術ー」については以下のご意見をいただきました。

■大変参考になった。ソフトウェアの難読化と暗号化について詳細に書かれており、これからの技術動向に注目していきたい。(金尻和也)

■難読化ツールなどの存在自体は知っていたが、それらの技術的な現状を知る機会はなかったため、大変参考になった。(杉山秀則)

連載「組込みソフト産業の実態と開発の課題:組込みシステム開発の要素技術と標準化」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■企業で開発に携わる者にとっては、とても興味深い内容で参考になりました。(船津俊一)

■興味を持って読みました。次回も楽しみです。(中井英二)

コラム「アメリカITまわりの話題:会社とブログ」については、以下のご意見をいただきました。

■非常に興味深く読ませていただきました。今回のコラムは企業外への情報発信のことが中心でしたので、今後は情報共有や知識の集積など、企業内でのblog活用について最新の動向を、実例を加えて知りたく思います。(平島大志郎)

■大変面白く読めた。日本でも人気が高まり、ブログが書籍化されるなど、マーケットも拡大している。一方、ブログ上での秘密の漏洩などが問題となり、ニュースに取り上げられることもあった。結局、こういった秘密を記載するか否かは、現状ではブログ運営者の常識や良心によるものとなっている。そういった注意が今後必要となると感じられる。(根本訓央)

■会社とブログでのホットな話題を情報保護やCSRの視点から興味深く紹介いただいた。企業内プロフェッショナルが求められる中、その情報発信手段としてのブログや掲示板は、彼らにとっていろいろな意味で重要なツールになると考えられます。個人が会社の仕組みを活かしながら、会社の枠を超えて社会に貢献する。IT活用の最もすばらしい形の1つではないでしょうか。(濱 久人)

コラム「日本のIT事情:IPの狭間で想うこと」については以下のご意見をいただきました。

■コラムの記事は楽に読め、時事問題的知識向上に役立ちました。内容は興味深いものですが、必ずしも日本のIT事情を伝えるものではないのではないかと感じました。(竹下 亨)

■楽しく読ませていただきました。ICANNに見られるようなIPの認識の違いや壁など、非常に興味深く感じました。(平島大志郎)

■長年アメリカで過ごされた(お仕事をされた)著者ならではの視点で面白かったです。(匿名希望)

コラム「電子認証いまむかし：PKIがきた道」について、以下のご意見をいただきました。

■個人的にはPKIは一般に「公開鍵暗号を用い、処理が重い」というイメージがある。この点についての言及が今回の記事から読み取れなかったため、今後の連載で出てくると期待している。(匿名希望)

■非常に興味がありながらも、内容を詳しく分かりきれていない感があります。しかし、今までのPKIのたどってきた道の詳細を知れるのは非常に有益だと感じます。(平島大志郎)

コラム「情報技術と医療：何とアンバランスなマンマシンシステム」については以下のご意見をいただきました。

■改めて電子化というのは果たして本当に人間の生活を便利にしているのかという疑問を感じました。情報の専門家だからこそ冷静に電子化のメリット、デメリットを分析する必要があると思いました。(片山聡一郎)

■医療のような閉鎖的な分野での情報技術の話題については、とても興味があります。連載記事について、今後も期待しています。(太田宏佑)

■この話は、医療に限った現象ではないと思いました。一昔前は、すべてデジタル化され、便利になるといわれていました。しかし、現実問題においては、不確定要素が多すぎて計算モデルとして表すことができなかつたり、柔軟性にかけるシステムしか作ることができないといったことが生じています。計算機が人間の負荷を減らしてくれるという夢を夢で終らせないために、私達ができることはあるのだろうか、と考えさせられました。(高田雅美)

その他の記事については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■神沼先生の「情報システム論文」特集号の総括は、大変よくまとまった報告書で、その中で参照されている永田レポートと共に情報システム関連の論文を書くこととする研究者、実務家にとって大いに参考になります。(竹下 亨)

■「情報システム論文」特集号の総括を読んで、論文を書く際にはどのような点に注意すべきかということを確認できて、これから論文を書いていくうえでとても参考になりました。(片山聡一郎)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■さまざまな標準化についての話題を取り上げて欲しいです。(片山聡一郎)

■ハードウェアプロテクションの記事もお願いしたい。(匿名希望)

■EdyやfelicaなどICカード関連の記事が読んでみたい。(阿達健太)

■コンピュータウイルスに対する特集も期待したいところです。(後藤教彰)

■私たちの生活や産業で直接的に関係する記事を期待します。(森 博之)

■コピキタス社会のことがそろそろメジャーになってきたかと感じてきました。この辺は、大学よりも企業の方が取り組みが進んでいるので、企業からの投稿を待ち望んでいます。(松田昭信)

■特別寄稿では「情報」という言葉の源流が探求された。いくつかの記事では「知識」を論じているが、「知識」と「情報」の区別が明確にされないまま論じられている。経営学の世界で論じられている「知識」との交流も見られない。情報や知識など我々にとって基本的な専門用語に関する語源や他分野での意味づけや相互関連なども読んでみたい。(宮地利雄)

■情報処理技術の成果がこんなところにも活かされているというような記事を、毎月1件でも載せてもらえればありがたい。今のままでは、アカデミズムの要素が強すぎる。(西尾 勉)

次のご意見に関しては、編集委員会で検討させていただきます。

■会誌「情報処理」をより読者に近づけ、読者の意見を重視し、かつ読者間の意見交換の「会員の広場」にしたいのであれば、その主要部分でもこの雑誌の後ろの方ではなく、前の方に移してはいかがですか？「会員の広場」の中の全部を前に持ってくるのが難しければ、特に有意義な、もしくは主要な意見を、前の方のページに普通の大きさの活字で印刷し、残りは後ろに小活字で続けるという形ではいかがですか？(竹下 亨)

■米国での本誌に相当する IEEE Computer 誌では会員の意見を「Letters」として巻頭に持ってきており、いかに会員を重視しているかが分かります。日本では「巻頭言」として識者の意見を載せるのが通例になっていますが、米国の方法も一考の価値があると考えます。米国の行き方に「草の根民主主義」を感じます。(小野俊彦)

【本欄担当 泉 正夫、佐藤浩史/書評・ニュース分野】

今月はこのほかにも数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合上すべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください！！

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。
・記事に対する感想、意見 ・記事テーマの提案 ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。
なお、「道しるべ」については <URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。
※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。
掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
<URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax: (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4607.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております。
<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「マルチエージェントの理論と応用」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-F.html	8月31日(水)		
	論文誌「情報処理技術のフロンティア」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-L.html	9月30日(金)		
	論文誌「ユビキタス社会を支えるコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-J.html	11月25日(金)		
7月13日(水)～ 7月15日(金)	第137回データベースシステム研究発表会 ～夏のデータベースワークショップ DBWS2005～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS137.html	5月17日(火)	当日のみ	奥入瀬溪流グラウンド ホテル
7月15日(金)～ 7月16日(土)	1st International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2005) http://www.collabtech.org/			江戸東京博物館
7月15日(金)～ 7月16日(土)	第57回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP57.html	5月13日(金)	当日のみ	函館 湯の川温泉
7月18日(月)～ 7月20日(水)	第8回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2005) http://www.am.sanken.osaka-u.ac.jp/MIRU2005/		6月20日(月)	淡路夢舞台国際会議場
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第30回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.sdl.hitachi.co.jp/csec/mt20050721.html	5月20日(金)	当日のみ	岩手県立大学
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第114回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI114.html	5月20日(金)	当日のみ	白馬ロイヤルホテル (長野県白馬村)
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第10回ヒューマンインタフェースプロフェッショナル ワークショップ (HIP10) http://css.jaist.ac.jp/hip10/		6月24日(金)	白馬ロイヤルホテル (長野県白馬村)
7月22日(金)～ 7月23日(土)	第168回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL168.html		当日のみ	沖縄県 宜野湾市
7月22日(金)	第51回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD51.html	5月17日(火)	当日のみ	岩手県立大学
7月25日(月)	第1回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO1.html	5月20日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所 (江東区 青海)
7月28日(木)～ 7月29日(金)	第149回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SE149.html	5月30日(月)	当日のみ	南山大学 瀬戸キャンパス
7月29日(金)	第67回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH67.html		当日のみ	山梨大学 甲府キャンパス
7月29日(金)	第16回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI16.html	5月13日(金)	当日のみ	浅草ビューホテル
8月1日(月)～ 8月2日(火)	第140回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ICS140.html	5月31日(火)	定員になり次第	ホテルメゾン軽井沢
8月3日(水)	第100回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会～2005年並列/分散/協調処理に関する『武雄』 サマー・ワークショップ (SWoPP 武雄2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/OS100.html		当日のみ	武雄市文化会館
8月3日(水)～ 8月4日(木)	第156回計算機アーキテクチャ研究発表会～2005年並列/分散/ 協調処理に関する『武雄』サマー・ワークショップ (SWoPP 武雄2005)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC156.html		当日のみ	武雄市文化会館
8月3日(水)～ 8月4日(木)	第55回プログラミング研究発表会～2005年並列/分散/ 協調処理に関する『武雄』サマー・ワークショップ (SWoPP 武雄2005)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO55.html		当日のみ	武雄市文化会館
8月3日(水)～ 8月5日(金)	第103回ハイパフォーマンスコンピューティング研究 発表会～2005年並列/分散/協調処理に関する『武雄』 サマー・ワークショップ (SWoPP 武雄)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SWoPP2005.html	4月25日(月)	当日のみ	武雄市文化会館
8月4日(木)～ 8月5日(金)	第61回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS61.html	6月3日(金)	当日のみ	NTT西日本京阪奈ビル
8月5日(金)	第14回システム評価研究発表会～2005年並列/分散/協調 処理に関する『武雄』サマー・ワークショップ (SWoPP 武雄2005)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EVA14.html		当日のみ	武雄市文化会館
8月5日(金)	第38回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM38.html	5月27日(金)	当日のみ	一橋大学 国立キャンパス 北海道 余市郡
8月21日(日)～ 8月23日(火)	情報教育シンポジウム SSS2005 http://ce.tt.tuat.ac.jp/index.php?SSS2005			
8月24日(水)～ 8月26日(金)	DA シンポジウム 2005 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DA2005.html	5月9日(月)	7月14日(木)	遠鉄ホテルエンバ イア
8月25日(木)	第93回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS93.html	5月27日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
8月25日(木)～ 8月26日(金)	東北支部「平成17年度電気関係学会東北支部連合大会」 開催案内 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月10日(金)	当日受付可	岩手大学学生センター 棟 (盛岡市)
8月29日(月)～ 8月31日(水)	ネットワーク生態学研究グループ サマースケール http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0508.html		定員になり次第	のとふれあい文化 センター
9月5日(月)	第14回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/GI14.html	8月6日(土)	当日可	台湾 台北
9月5日(月)～ 9月6日(火)	第150回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM150.html	6月30日(木)	当日のみ	東京大学生産技術 研究所
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/	査読付: 4月28日(木) 一般: 6月3日(金)		中央大学 後楽園キャンパス
9月14日(水)	連続セミナー 2005 第3回「組み込み用LSI」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
9月15日(木)～ 9月16日(金)	東海支部「電気関係学会連合大会」開催案内および論文募集 http://www.watanabe.ss.is.nagoya-u.ac.jp/rengo2005/	7月4日(月)	8月26日(金)	名城大学 天白キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月15日(木)～ 9月16日(金)	第34回モバイルコンピューティングとユビキタス通信 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MBL34.html	7月15日(金)	当日のみ	武蔵工業大学横浜 キャンパス
9月16日(金)	第102回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL102.html	7月15日(金)	当日のみ	大阪大学
9月16日(金)～ 9月18日(日)	第3回エンタテインメントコンピューティングシンポ ジウム (EC2005) http://www.entcomp.org/sig/			フルーツフラワー パーク (兵庫県神戸市)
9月19日(月)～ 9月21日(水)	4th International Conference on Entertainment Computing http://ist.ksc.kwansei.ac.jp/ICEC2005/			関西学院大学
9月20日(火)～ 9月22日(木)	夏のプログラミング・シンポジウム 「プログラミング道～その原点・その道を極める～」 http://hq.os.cs.tuat.ac.jp/sprosym05/	7月15日(金)	7月22日(金)	信州戸倉上山田温泉 ホテル清風園
9月21日(水)～ 9月22日(木)	第124回マルチメディア通信と分散処理・第57回グループ ウェアとネットワークサービス合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DPS124GN57.html	7月15日(金)	当日のみ	神戸市産業振興 センター
9月22日(木)	第56回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MPS56.html	7月20日(水)	当日のみ	同志社大学
9月24日(土)～ 9月25日(日)	北陸支部「電気関係学会北陸支部連合大会」開催案内 および講演募集 http://jhes.ishikawa-nct.ac.jp/	8月12日(金)		石川工業高専 (石川県河北郡)
9月28日(水)	四国支部「平成17年度電気関係学会四国支部連合大会」 開催案内および論文募集 http://sjciee.ywmw.ne.jp/	7月29日(金)		四国電力(株) 総合研修所(高松市)
9月29日(木)～ 9月30日(金)	第80回情報学基礎・第169回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/FI80NL169.html	6月30日(木)	当日可	横浜国立大学
9月29日(木)～ 9月30日(金)	九州支部「電気関係学会支部連合大会」開催案内および 講演募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	7月20日(水)	8月31日(水)	福岡工業大学 (福岡市東区)
9月30日(金)	第52回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD52.html	7月19日(火)	当日のみ	機械振興会館
10月7日(金)	連続セミナー 2005 第4回「組み込みソフト開発手法・検証 ツール」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
10月11日(火)～ 11月12日(土)	第56回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO56.html	8月12日(金)	当日のみ	玉原国際セミナー ハウス
10月14日(金)	第39回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM39.html	8月15日(月)	当日のみ	徳島大学工学部工業 会館
10月17日(月)～ 10月19日(水)	組込みソフトウェアシンポジウム 2005 (ESS2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ESS2005.html	7月15日(金)	定員になり次第	日本科学未来館
10月22日(土)	第81回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CE81.html	8月29日(月)	当日のみ	大阪学院大学
11月18日(金)～ 11月20日(日)	第10回ゲームプログラミングワークショップ2005 (GPW-05) http://minerva.cs.uec.ac.jp/~ta-ito/GPW05/top.htm	7月20日(水)	11月5日(土)	箱根セミナーハウス
11月25日(金)	連続セミナー 2005 第5回「組み込みソフト開発事例 (組み込みOS系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月28日(月)	連続セミナー 2005 第6回「組み込みソフト開発事例 (ユビキタス系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月29日(火)～ 11月30日(水)	コンピュータシステム・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ComSys2005.html	7月22日(金)	定員になり次第	筑波大学
2006年				
1月23日(月)～ 1月27日(金)	2006年インターネット応用国際会議 (SAINT2006) http://www.saintconference.org/	7月1日(金)		アメリカアリゾナ州 フェニックス
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (学会創立45周年記念イベント) http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			工学院大学 新宿キャンパス
3月8日(水)～ 3月10日(金)	第68回全国大会 (学会創立45周年記念大会) http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/			工学院大学 新宿キャンパス
5月9日(火)～ 5月12日(木)	7th International Conference on Mobile Data Management http://www.mdm2006.kddilabs.jp/			奈良新公会堂
9月5日(火)～ 9月7日(木)	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月15日 人材募集情報(6月)更新しました
- 6月2日 第23代会長挨拶を掲載しました

[学会からのお知らせ]

- 6月20日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 6月15日 平成16年度論文賞の表彰
- 6月8日 電子メールの誤配信について
- 6月1日 名誉会員のご紹介
- 6月1日 平成16年度功績賞のご紹介
- 5月26日 平成16年度業績賞・研究開発奨励賞のご紹介
- 5月26日 第48回通常総会報告・平成17年度役員名簿

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）

賛助会員（企業） 31,500円（ 〇 ）

賛助会員以外の企業 52,500円（ 〇 ）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■お茶の水女子大学理学部情報科学科

募集人員 教授または助教授 1名
専門分野 バイオインフォマティクス
担当科目 バイオインフォマティクス、ゲノム情報解析、生体情報論、学習アルゴリズム論、バイオデータベース論ならびに情報科学関連科目から応募者の専門に応じていくつかの学部授業科目、演習および学部の卒業研究指導と大学院博士前期・後期課程の授業科目
応募資格 博士の学位を有する方（または着任時までに取得見込みの方）、大学院博士前期・後期課程の研究指導ができる方、教育・研究ならびに学科運営に熱意があること
着任時期 決定後のなるべく早い時期
提出書類 履歴書、研究業績リスト、（査読付き学術雑誌論文および国際会議論文とその他を分けて記載すること）、主要論文別刷（10編程度、コピー可）、教育・研究の計画と抱負（A4用紙2枚以下）、応募者の業績ならびに人物の照会ができる方2名の氏名と連絡方法
応募締切 平成17年8月1日（必着）
送付先/照会先 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学理学部情報科学科 学科長 吉田裕亮
 E-mail:yoshida@is.ocha.ac.jp 「教員公募書類」と朱書き簡易書留
その他 Webページ (<http://www.ocha.ac.jp/koubo/index.html>) も参照ください

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授、助教授もしくは講師のいずれか 1名
専門分野 情報処理技術者教育、ソフトウェアエンジニアリング、情報処理基礎分野のいずれかの分野で研究業績のある方
担当科目 アルゴリズム基礎論、ソフトウェア工学、システム情報工学演習、プログラミング演習など
応募資格 博士の学位を有する方（または着任までに取得できる方）、大学院の担当が可能な方、55歳以下で教育歴がある方が望ましい。また第三者の利用を前提とした情報処理システムの制作経験のある方が望ましい
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書（学歴、職歴、学会および社会における活動などを明記すること）、履歴書のFD（履歴書に記載した内容と同じもので、顔写真の画像を入れること）、研究業績リスト（査読付き論文、国際会議、紀要を区別のこと）、主要論文別刷（5編、コピー可）、これまでの主要研究の概要と今後の研究計画（2000字以内）、教育と研究に対する抱負（JABEE認定を含む、1000字以内）
応募締切 平成17年8月19日
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-8923
 「情報システム工学科教員応募書類」に朱書き簡易書留
照会先 情報システム工学科 学科長 鶴岡 久 Tel(092)606-4993

■呉工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 情報工学 (OS, アルゴリズム, ニューラルネットワーク, 量子符号・暗号理論など)に関する分野
 応募資格 年齢が30～45歳の方, 博士の学位を有する方, 高専教育に熱意のある方. 情報に関する資格を有する方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書, 著書・論文リストなど, 主要著書・論文別刷(コピー可)とその概要, 科学研究費補助金・各種研究助成金の取得状況, 研究成果および教育実績(1000字程度), 着任後の教育・研究に対する抱負(1000字程度), 推薦書, 健康診断書(所定様式を下記Webページよりダウンロードしてください)
 応募締切 平成17年8月22日(必着)
 送付先 〒737-8506 広島県呉市阿賀南2-2-11 呉工業高等専門学校庶務課人事係 Tel(0823)73-8405
 郵送の場合は「電気情報工学科教員応募」と朱書き簡易書留
 照会先 電気情報工学科 主任 教授 植田義文 E-mail:ueda@kure-nct.ac.jp Tel(0823)73-8470 Fax(0823)73-8474
 その他 提出書類の所定様式は本学Webページ (<http://www.kure-nct.ac.jp>)よりダウンロードしてください

■慶應義塾大学理工学部情報工学科

募集人員 助手(有期:最大2年)または専任講師(有期:最大2年) 1名
 専門分野 情報工学の関連分野
 応募資格 原則として35歳以下で, 博士の学位を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書(市販のもので可), 業績書(著書・原著論文・国際会議・国内口頭発表・特許・その他自己アピールできる顕著な業績を分けて記すこと), 推薦書1通(様式自由), これまでの研究概要(2000字程度, 様式自由), 将来の研究の抱負(2000字程度, 様式自由)
 応募締切 平成17年8月31日
 送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部情報工学科 主任 中川正雄
 E-mail:makagawa@nkgw.ics.keio.ac.jp Tel(045)566-1746 Fax:(045)566-1747 「教員応募書類在中」と朱書き書留
 *応募書類は返却いたしません

■中央大学理工学部情報工学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 情報数理, ソフトウェア全般
 担当科目 情報工学科専門科目から応募者の専門に応じて, いくつかの学部授業科目・演習(通常前後期各2～3科目), および学部の卒業研究指導と大学院博士前期・後期課程の授業科目(通常前期課程授業科目は前後期各1科目). 加えて, 助教授の場合には博士前期課程の研究指導, 教授の場合には博士前期課程・後期課程の研究指導
 応募資格 情報工学に関連する博士の学位を有する方(または着任時までに取得見込みの方). 助教授の場合には原則として着任時40歳未満で, 博士前期課程の研究指導ができる方, 教授の場合には原則として着任時45歳未満で, 博士前期課程・後期課程の研究指導ができる方. 私立大学における教育・研究ならびに学科運営に熱意を持って取り組める方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書(様式自由, 技術者関連資格を有する場合には記載すること), 研究業績リスト(著書(編書, 翻訳書も含む)・有査読学術雑誌論文・有査読国際会議論文・特許ならびにその他の5種類に分類の上, 最近のものから順に記載), 主要論文別刷(3編程度, コピー可), 学会・社会活動リスト, 教育・研究の計画と抱負(10ポイント以上のフォントでA4用紙2枚以下), 応募者の業績ならびに人物の照会が可能な方2名の氏名・連絡先
 応募締切 平成17年8月31日(必着)
 送付先 〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27 中央大学理工学部情報工学科 主任 浅野孝夫 「教員公募書類」と朱書き書留または簡易書留(直接の持込み不可) *応募書類は返却いたしません(選考終了次第, 当方で責任をもって処分いたします)
 照会先 情報工学科 主任 浅野孝夫, 副主任 牧野光則 E-mail:koubo2006@ise.chuo-u.ac.jp (E-mail以外での問合せ不可)
 その他 選考の過程で, 照会, 面接, セミナー形式での発表などをお願いすることがありますので, ご了承ください
 Webページ (<http://www.ise.chuo-u.ac.jp/>)も参照ください

■筑波大学大学院システム情報工学研究科

募集人員	助教授または講師 3名
所 属	知能機能システム専攻
専門分野	人間・通信・機械・センシング・計算機の2つ以上に跨る学際的分野(たとえばインタラクション工学, モバイル情報通信, 人間支援システム, 人間情報科学など)
担当科目	工学システム学類(学部に対応)における数学・計算機・物理などの基礎科目の教育, 大学院における教育(講義, 研究指導または研究指導補助)と, 専門分野における研究
応募資格	博士の学位を有し(着任時期までに取得見込みも可), 専門分野において優れた研究業績があり, 学類の教育に熱意を持つ方
着任時期	平成18年4月1日までのできるだけ早い時期
提出書類	履歴書, 研究業績リスト(審査付き雑誌論文・審査付き国際会議論文・著書・解説・その他の研究発表・特許・受賞・外部資金獲得実績・資格(技術士など)などに分類したもの), 主要論文別刷(5編程度, 各1部, コピー可), これまでの研究経過と着任後の研究計画(A4用紙1枚程度), 教育研究についての抱負(A4用紙1枚程度), 推薦を期待できる方2名の氏名
応募締切	平成17年8月31日(必着)
送付先/照会先	〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学システム情報工学研究科 知能機能システム専攻長 大田友一 E-mail: ohta@iit.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5515 「助教授応募書類」または「講師応募書類」と朱書き書留または宅配便
そ の 他	助教授ポスト, 講師ポストの両方に応募する場合には, 応募書類を別々に2通お送りください 詳細はWebページ(http://www.iit.tsukuba.ac.jp/)を参照ください

■筑波大学計算科学研究センター

募集人員	産学連携研究員 1名 (任期 平成20年3月31日まで)
専門分野	計算機アーキテクチャ分野
職務内容	計算科学研究センター超高速計算システム研究部門において, 文部科学省「次世代IT基盤構築のための研究開発」の研究領域「将来のスーパーコンピューティングのための要素技術の研究開発」の1つである「低電力高速デバイス・回路技術・論理方式の研究開発」プロジェクトに参加し, 研究員として, 低電力かつ高性能を達成するプロセッサアーキテクチャ, 論理方式に関する研究を行う
応募資格	計算機アーキテクチャ分野において研究実績があり, 上記プロジェクト課題に対し研究能力と熱意を有する方, 博士の学位を有する方が望ましい
着任時期	平成17年10月1日以降, 決定後なるべく早い時期
提出書類	履歴書(連絡先とE-mailを明記), 研究業績リスト(学術論文・国際会議論文・著書・特許などのリスト(共著者はすべて記入のこと)), 主要論文別刷(3編以内, コピー可), これまでの研究についての概要(2000字程度), 研究計画と研究に対する抱負(2000字程度), 参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先
応募締切	平成17年9月1日(必着)
送 付 先	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学 計算科学研究センター長 宇川 彰 「超高速計算システム研究分野 人事応募書類」と朱書き書留か宅配便
照 会 先	超高速計算システム研究部門長 佐藤三久 E-mail: msato@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5532 (なるべくE-mailでお願いします)
そ の 他	詳細はWebページ(http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/)の公募情報を参照ください

■近畿大学理工学部情報学科

募集人員	助教授または講師のいずれか 1名
専門分野	情報メディア学にかかわる分野
応募資格	博士の学位を有する方で, 着任時45歳までの方. 教育に熱心な方, 十分な研究業績を有する方, 企業などではプロジェクトなどの実施経験を有する方
着任時期	平成18年4月1日
提出書類	履歴書, 研究業績集計表, 研究業績リスト, これまでの研究の概要, 主要論文別刷, 本学における今後の教育・研究に対する抱負, 推薦書, その他および詳細は本学のWebページ(http://www.kindai.ac.jp/)の教職員募集を参照ください
応募締切	平成17年9月9日(必着)
送付先/照会先	〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学理工学部情報学科 学科長 高橋統一 E-mail: takahash@info.kindai.ac.jp Tel(06)6721-2332 (ext.4626) Fax(06)6730-1320

■名城大学都市情報学部都市情報学科

募集人員 助教授または講師 1名
 所 属 情報処理系
 専門分野 計算機工学
 担当科目(予定) 情報数学B, 数学Bおよびコンピュータ演習, セミナール
 応募資格 年齢は30歳代で, 博士の学位を有する方, 情報処理(コンピュータ処理, 数値処理)に関して十分な能力を有する方, 文理融合学
 部を考慮し, 学際的な都市情報学に関する教育・研究に十分な能力を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 個人調書など(所定様式に写真貼付), 教育研究業績書(所定様式), 主要論文などの別刷(5編以内, 各2部, コピー可), 現在まで行っ
 てきた研究内容の要旨(1000字程度), これまでの教育に対する取り組みについて(1000字程度)
 応募締切 平成17年9月12日(必着)
 送付先 〒509-0261 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3 名城大学 都市情報学部長 木下栄蔵 「教員応募(E)書類在中」と朱書き書留
 照会先 都市情報学部事務室 事務長または総務係 Tel(0574)69-0100(代表) Fax(0574)69-0155
 その他 提出書類の所定様式は, 本学Webページ(<http://www.meijo-u.ac.jp/>)からダウンロードしてください

■鳥取大学工学部電気電子工学科

募集人員 助教授 1名
 所 属 電子情報制御講座
 専門分野 情報セキュリティシステム関連分野(たとえばネットワークセキュリティ, 認証システム, 回路システムなど)
 担当科目 情報通信, 電気電子回路, 電磁気, 数学, 実験, 演習など
 応募資格 博士の学位を有し, 40歳前後までの方, 上記専門分野の開発研究に十分な意欲を有し, 教育に熱意があり, 大学院博士後期課程
 を担当できる方
 着任時期 平成18年1月1日以降, なるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 教育歴(非常勤講師を含む), 研究業績リスト, 研究概要(2000字程度), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 所属学会お
 よび学会活動, 社会における活動, その他の教育・研究活動など, 外部資金の導入, 教育・研究および教室運営についての抱負(2000
 字程度), 推薦書(2通)または本人に関する所見を伺える方2名の氏名・連絡先
 応募締切 平成17年9月28日(必着)
 送付先/照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学工学部 電気電子工学科長 中井生央
 E-mail:nakai@ele.tottori-u.ac.jp Tel(0857)31-5104 Fax(0857)31-0880 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便
 その他 【選考方法】1次:書類審査, 2次:1次選考合格者に対して面接とプレゼンテーション
 詳細は本学Webページ(<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>)を参照ください

■日本大学工学部情報工学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 ソフトウェア工学, ソフトウェア科学, コンピュータサイエンスなどの情報工学の主要分野を専門とする方
 担当科目 アルゴリズム論, プログラミング演習, 卒業研究など, 大学院での専門分野科目担当
 応募資格 博士の学位を有する方(または年度内取得が可能な方), 教授の場合年齢は50歳前後で, 大学院博士後期課程の学生指導が可能な方
 着任時期 平成18年4月
 提出書類 (1)履歴書(学会活動, 教育歴などを含む, 連絡先, E-mailアドレスを明記) (2)研究業績リスト (3)主要論文別刷(5編以内, コピー
 可) (4)教育・研究に関する抱負(A4用紙1~2枚程度), (5)上司・指導教授などの推薦書(1~2通)
 * (3), (4), (5)については, 1次書類選考後の10月下旬提出でも可
 応募締切 平成17年9月30日
 送付先/照会先 〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定中河原1 日本大学工学部情報工学科 主任 原 靖彦
 E-mail:hara@cs.ce.nihon-u.ac.jp Tel(024)956-8884 簡易書留で送付 *応募書類は返却いたしません

■山口東京理科大学基礎工学部電子・情報工学科

募集人員 教授, 助教授, 講師のいずれか 1名
専門分野 情報工学
担当科目 コンピュータシステム, オートマトン, ソフトウェア工学, プログラミング実習など
応募資格 博士の学位を有する方で, 年齢は40~50歳が望ましい
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 教育への抱負(1000程度), 研究計画(1000字程度), 推薦書, 推薦者以外で所見を求め得る方の氏名および連絡方法
応募締切 平成17年9月30日(必着)
送付先/照会先 〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1 山口東京理科大学基礎工学部電子・情報工学科 教授 藤井洋二
E-mail:fujii@ed.yama.tus.ac.jp Tel/Fax(0836)88-4542

■法政大学情報科学部コンピュータ科学科

募集人員 助教授または教授 1名
専門分野 情報科学
担当科目 コンピュータ科学の科目(コンパイラ, Java, OSなど)
応募資格 博士の学位を有し, 大学院での研究を指導できる方
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書(教育歴の記述を含む), 研究業績リスト(特許・製品開発など, 企業での業績を含む), 主要論文別刷
応募締切 平成17年10月15日(必着)
送付先/照会先 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学情報科学部 学部長 小池誠彦 E-mail:koike@k.hosei.ac.jp
Fax(042)387-4560 「教員応募書類」と朱書き書留 *応募書類は返却いたしません
その他 【選考方法】1次:書類審査, 2次:面接 (採否の結果は個別に連絡いたします)

■岡山大学大学院自然科学研究科

募集人員 教授 1名
所属 産業創成工学専攻計算機科学講座(工学部情報工学科)
専門分野 計算機アーキテクチャ, 計算機ハードウェア, 計算機システム, および関連する計算機科学分野
応募資格 博士の学位を有し, 博士後期課程の担当が可能なる方
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書, 業績リストなど. 詳細は「JREC-IN」Webページ(<http://jrecin.jst.go.jp/>)を参照してください
応募締切 平成17年10月21日(必着)
送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市津島中3-1-1 岡山大学工学部情報工学科 学科長 谷口秀夫 E-mail:jimu@it.okayama-u.ac.jp
「教員応募書類在中」と朱書き書留



2005年度 画像符号化シンポジウム(PCSJ2005), 映像メディア処理シンポジウム(IMPS2005) 開催案内

画像符号化シンポジウム(PCSJ)と映像メディア処理シンポジウム(IMPS)は、今年も秋の静かな浜名湖畔の会場で以下のように開催することとなりました。活発な活動を重ねてきました両シンポジウムですが、今年度でPCSJは通算20回目、IMPSは10回目と節目の年を迎えることとなり、その記念企画も計画しております。是非ご投稿、ご参加頂きたくご案内申し上げます。

【日時】 2005年11月9日(水)午後～11日(金)

【会場】 浜名湖ロイヤルホテル(静岡県浜名郡雄踏町山崎4396-1) TEL.053-592-2222

【交通】 JR東海道線舞阪駅から車で7分または新幹線浜松駅から車で30分

【講演内容】 画像符号化, 映像メディア処理に関する口頭発表・ポスター発表, 特別講演, パネル討論等

【申込締切】 講演を申し込まれる場合 7月29日(金)

聴講参加される場合 10月7日(金)

【問合せ先】 NTTサイバースペース研究所 高村誠之

E-mail: pcsj-imps2005@lab.ntt.co.jp TEL.046-859-2371 FAX.046-855-1735

なお、詳細な開催案内、申込方法などに関する情報を以下のWWWサイトで提供しております。

PCSJ, IMPS ホームページ <http://www.hal.k.u-tokyo.ac.jp/pcsj/>

【主催】 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会

【共催】 映像情報メディア学会メディア工学研究委員会・画像電子学会・
情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究会

協力協定締結学会との正会員会費割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・割引率(当会の正会員対象)

ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l'Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本学会費割引率

正会員費 10%(協力協定学会の正会員対象)

【申請方法】 会費割引を希望する正会員の方(これから入会する方を除く)は、その旨を協力協定締結各学会正会員の会員証コピーを添付(Fax可)のうえ、下記照会先に申請してください。各学会への照会后に適用となります。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方は、入会金免除を受ける方法 (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/nyukai/nyukaikinmenjo.html>) をご参照ください。

■照会先: 会員サービス部門

E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

社団法人 情報処理学会

会員皆様への「情報処理学会倫理綱領」遵守のお願い

最近、残念なことに、本会の著作権規程に違反するなど学会員としてのモラルを欠くような事態が見受けられます。本会では、学会員の倫理規範である「情報処理学会倫理綱領」を以下の通り設けておりますが、会員皆様におかれましては、この機会に改めてご一読いただき、学会員としての規範を遵守くださるようお願いいたします。

情報処理学会著作権規程は次のページをご覧ください。

「情報処理学会倫理綱領」

前文

我々情報処理学会会員は、情報処理技術が国境を越えて社会に対して強くかつ広い影響力を持つことを認識し、情報処理技術が社会に貢献し公益に寄与することを願い、情報処理技術の研究、開発および利用にあたっては、適用される法令とともに、次の行動規範を遵守する。

1. 社会人として

- 1.1 他者の生命、安全、財産を侵害しない。
- 1.2 他者の人格とプライバシーを尊重する。
- 1.3 他者の知的財産権と知的成果を尊重する。
- 1.4 情報システムや通信ネットワークの運用規則を遵守する。
- 1.5 社会における文化の多様性に配慮する。

2. 専門家として

- 2.1 たえず専門能力の向上に努め、業務においては最善を尽くす。
- 2.2 事実やデータを尊重する。
- 2.3 情報処理技術がもたらす社会やユーザへの影響とリスクについて配慮する。
- 2.4 依頼者との契約や合意を尊重し、依頼者の秘匿情報を守る。

3. 組織責任者として

- 3.1 情報システムの開発と運用によって影響を受けるすべての人々の要求に応じ、その尊厳を損なわないように配慮する。
- 3.2 情報システムの相互接続について、管理方針の異なる情報システムの存在することを認め、その接続がいかなる人々の人格をも侵害しないように配慮する。
- 3.3 情報システムの開発と運用について、資源の正当かつ適切な利用のための規則を作成し、その実施に責任を持つ。
- 3.4 情報処理技術の原則、制約、リスクについて、自己が属する組織の構成員が学ぶ機会を設ける。

注

本綱領は必ずしも会員個人が直面するすべての場面に適用できるとは限らず、研究領域における他の倫理規範との矛盾が生じることや、個々の場面においてどの条項に準拠すべきであるか不明確（具体的な行動に対して相互の条項が矛盾する場合を含む。）であることもあり得る。したがって、具体的な場面における準拠条項の選択や優先度等の判断は、会員個人の責任に委ねられるものとする。

付記

1. 本綱領は平成8年5月20日より施行する。
2. 本綱領の解釈および見直しについては、必要に応じて委員会を設置する。

情報処理学会著作権規程

平成 12 年 4 月 1 日制定
平成 13 年 6 月 20 日改訂
平成 16 年 11 月 30 日改訂

情報処理学会は、研究論文等の印刷、配布又は Web 送信など、投稿者及び他の会員や社会の期待に応えるサービスを、情報処理学会の名声と権威にふさわしい質を維持しながら提供する必要がある。しかも、このサービスは将来予想される新技術や会員/社会のニーズの変化に柔軟に対応しつつ、安全かつ継続して提供できねばならない。

そのためには、情報処理学会が自己の名義の下で公表する著作物の著作権に関する取り扱いを明確にする必要がある。この規程ではかかる著作物の著作権を情報処理学会に譲渡してもらうことを原則とするものの、それによって著者ができるだけ不便を被らないよう配慮する。

(この規程の目的)

第 1 条 この規程は、本学会に投稿される論文等（本学会発行の出版物に投稿される論文、解説記事等及び本学会に投稿される研究報告、シンポジウム・全国大会・本学会が主催又は共催する国際会議などの予稿、プロシーディングス原稿等を含む。以下あわせて論文等という。）に関する著作者・投稿者（以下あわせて「著作者」という。）の著作権の取り扱いに関して取り決めるものである。

(著作権の帰属)

第 2 条 本学会に投稿される論文等に関する国内外の一切の著作権（日本国著作権法第 21 条から第 28 条までに規定するすべての権利*を含む。）は本学会に最終原稿が投稿された時点から原則として本学会に帰属する。

2. 特別な事情により前項の原則が適用できない場合、著作者は投稿時にその旨を投稿窓口あてに文書にて申し出るものとする。その場合の著作権の扱いについては著作者と本学会との間で協議の上措置する。

3. 本学会の出版物に投稿された論文等が本学会の出版物に掲載されないことが決定された場合、本学会は当該論文等の著作権を著作者に返還する。

(不行使特約)

第 3 条 著作者は、以下各号に該当する場合、本学会と本学会が許諾する者に対して、著作者人格権を行使しないものとする。

- (1) 翻訳及びこれに伴う改変
- (2) 電子的配布に伴う改変
- (3) アブストラクトのみ抽出して利用
- (4) 前各号の他の利用に伴う改変

(第三者への利用許諾)

第 4 条 第三者から著作権の利用許諾要請があった場合、本学会は本学会理事会において審議し、適当と認められたものについて要請に応ずることができる。また、利用許諾する権利の運用を理事会の承認を得て外部機関に委託することができる。

2. 前項の措置によって第三者から本学会に対価の支払いがあった場合には、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

(著作者の権利)

第 5 条 本学会が著作権を有する論文等の著作物を著作者自身がこの規程に従い利用することに対し、本学会はこれに異議申し立て、もしくは妨げることをしない。

2. 著作者が著作物を利用しようとする場合、著作者は本学会に事前に申し出を行った上、本学会の指示に従うとともに利用された複製物あるいは著作物中に本学会の出版物にかかる出典を明記することとする。ただし、元の論文等を 25% 以上変更した場合には、この限りではない。また、3 項、5 項にかかわる利用に関しては事前に申し出ることなく利用できる。

3. 論文等のうち、本学会が査読の上論文誌（ジャーナル及びトランザクション。以下同じ。）への採録を決定して最終原稿を受領したもの及び会誌記事については、著作者は他の学会に投稿することはできない。なお、論文等のうち、研究報告、シンポジウム予稿、全国大会予稿、国際会議予稿、及びプロシーディングス原稿（以下「研究報告等」という。）については、研究の途中成果とみなし、著作者が当該研究報告等を研究の最終成果物とするため他学会等へ投稿する（以下「論文化投稿」という。）ことに対して、本学会は本学会が著作権を保有していることを理由に著作者および他学会等に対し異議申し立てを行わない。

4. 著作者が論文化投稿をするにあたり、著作権の返還を本学会に申請した場合、本学会は、当該著作者の申請が正当な理由によるも

のと認めるときは、当該研究報告等の著作権を著作者に返還する。ただし、当該著作者は、当該研究報告等に関し、本学会の運営上必要となる事項（第三者への複製許諾、学会が作成する Web サイト、CD-ROM 等への論文掲載等）を本学会が継続して実施できるよう、本学会に対して当該研究報告等にかかる著作権の利用許諾を行うものとする。なお、当該利用許諾については投稿先の学会等に事前に通知するものとし、本学会へ利用許諾を行ったことにより投稿先の学会等との間に紛争が生じた場合は、本学会は当該著作者と協力して、解決を図るものとする。

5. 著作者は、投稿した論文等について本学会の出版物発行前後にかかわらず、いつでも著作者個人の Web サイト（著作者所属組織のサイトを含む。以下同じ。）において自ら創作した著作物を掲載することができる。ただし、掲載に際して「情報処理学会倫理綱領」に則ること、ならびに本学会の出版物にかかる出典（当該出版物が発行された場合）及び利用上の注意事項**を明記しなければならない。

(例外的取り扱い)

第 6 条 他の学会等との共催行事に投稿される論文等の著作権について別段の取り決めがあるときは、前各条にかかわらず、当該取り決めがこの規程に優先して適用されるものとする。

(著作権侵害および紛争処理)

第 7 条 本学会が著作権を有する論文等に対して第三者による著作権侵害（あるいは侵害の疑い）があった場合、本学会と著作者が対応について協議し、解決を図るものとする。

2. 本学会に投稿された論文等が第三者の著作権その他の権利及び利益の侵害問題を生じさせた場合、当該論文等の著作者が一切の責任を負う。

(発効期日)

第 8 条 この規程は平成 12 年 4 月 1 日に遡って有効とする。なお、平成 12 年 4 月 1 日より前に投稿された論文等の著作権についても、投稿者から別段の申し出があり、本学会が当該申し出について正当な事由があると認められた場合を除き、この規程に従い取り扱うものとする。

*以下の権利を含む：

複製権（第 21 条）、上演権及び演奏権（第 22 条）、上映権（第 22 条の 2）、公衆送信権等（第 23 条）、口述権（第 24 条）、展示権（第 25 条）、頒布権（第 26 条）、譲渡権（第 26 条の 2）、貸与権（第 26 条の 3）、翻訳権、翻案権等（第 27 条）、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利（第 28 条）。

**利用上の注意事項の例：

ここに掲載した著作物の利用に関する注意
本著作物の著作権は（社）情報処理学会に帰属します。本著作物は著作権者である情報処理学会の許可のもとに掲載するものです。ご利用に当たっては「著作権法」ならびに「情報処理学会倫理綱領」に従うことをお願いいたします。

Notice for the use of this material

The copyright of this material is retained by the Information Processing Society of Japan (IP SJ). This material is published on this web site with the agreement of the author (s) and the IP SJ. Please be complied with Copyright Law of Japan and the Code of Ethics of the IP SJ if any users wish to reproduce, make derivative work, distribute or make available to the public any part or whole thereof.

All Rights Reserved, Copyright (C) Information Processing Society of Japan.

Comments are welcome. Mail to address editj@ipsj.or.jp, please.

ご意見をお寄せください!

[8月10日頃までにお出しく下さい]

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4607.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2005年7月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 特集: spamメールの現状と対策の動向
1.1 世界の電子メールを spam 制御へ 10-1-
1.2 spamメールの現状 10-2-
2.1 電子メールの基礎知識 10-3-
2.2 ブロッキング, スロットリング 10-4-
2.3 フィルタリング 10-5-
2.4 バウンスメール対策 10-6-
2.5 送信者認証・課金 10-7-
3.1 ISP における対策 10-8-
3.2 携帯電話における対策 10-9-
3.3 spam 対策団体の活動 10-10-
4.1 法制面での問題と対策 10-11-
4.2 政策・行政面での対策 10-12-
超小型衛星の時代 10-13-
組込みソフト産業の実態と開発の課題: 日本の組込みシステム産業の現状と課題 10-14-
情報技術と医療: 「医療情報」は「情報技術+医療」に収まるか? 10-15-
ミニ小特集: コンピュータが将棋を制する日
1. コンピュータ将棋の歴史的瞬間: プロ棋士に角落ちで勝利 10-16-
2. コンピュータ将棋はどのようにしてアマ5段まで強くなったか 10-17-
3. 将棋プログラムの現状と未来 10-18-
Web サービス: エンタープライズ連携から見た EA と SOA の意義 10-19-
Haskell プログラミング: Rubic キューブと置換の乗算 10-20-
アメリカ IT まわりの話題: Computer Science 技術者・研究者の活躍の場 10-21-
日本の IT 事情: 不確かで曖昧な情報技術の中にいる私 10-22-
電子認証いまむかし: 電子認証の苦悩 (2) 10-23-
20世紀の名著名論: Richard E. Bellman: Dynamic Programming 10-24-
20世紀の名著名論: Seymour Papert: Mindstorms: Children, Computers, and Powerful Ideas 10-25-
地域社会と IT: 佐賀の IT 戦略は教育から 10-26-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

spam と闘う特集を組ませていただいた。「SPAM, SPAM, SPAM, …」と呼ぶスキットにちなんで spam と呼ばれるようになったと言われている。今回の特集記事の編集は、「締切、締切、締切、…」と学会から連呼（督促）の結果としてできたというのは皮肉かもしれない（すみません）。で、ふと、「締切破りの問題点」、「締切破りの現状」、「技術面から見た締切破り対策」、「運用面から見た締切破り対策」、「社会的側面から見た締切破り対策」と、妄想してみた。ブロッキング（最初から受けない）やスロットリング（受ける量を減らす）、フィルタリング（締切破りになりそうな仕事を選別する）などは確かに有効そうだ。バウンスは、過度に引き受けた知り合いが締切を破ってしまって、

その代行仕事まわってきたようなものか。発信者認証は、どこから依頼されたかも分からない仕事は受けないように、ともなるのかもしれない。運用面からは、どうだろう。早めに締切を設定するとか、印刷所の締切から逆算する奴がいるとか、いちごっこなのかもしれない。社会的側面からいえば、そもそも（支払いの）締切を破ったら延滞料を取られるってこともあるとか云々。いや、結局締切を守るのは個人個人の努力によってなされるはずだから、技術や運用など他者に頼ってはいけませんね。spam 対策も他者に頼らなくてもよい世の中になるように願ってやみません。

（梶田秀夫／本特集エディタ）

次号（8月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」WIDE プロジェクトと最新インターネット技術研究動向

WIDE Project Overview / アジアのインターネット基盤と衛星インターネット技術 / WIDE プロジェクトにおける IPv6 モビリティ技術の研究開発 / IPv6-Fix: IPv6 普及期に向けた取り組み / 超広帯域ネットワークにおけるトランスポート技術 / enum と IP 電話 / Peer-to-Peer 技術

解説

空間分割を用いた識別と非線形写像の学習 (1) 空間分割による最近傍識別の高速化 和田俊和
世界の文字と文字コード (1) 三上喜貴

トピックス

情報技術の国際標準化と日本の対応 - 2004 年度の ISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動 - 情報規格調査会

連載 Haskell プログラミング / Web サービス

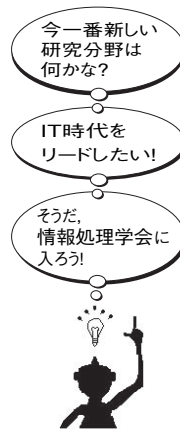
コラム アメリカ IT まわりの話題 / 欧州の IT 技術とビジネス / 情報技術と医療 / 電子認証いまむかし / 20 世紀の名著名論 / 日本の IT 事情

会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

〔R〕<学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo
107-0052, Japan
E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。